

## チロリ通信！VOL.10 (2013.4)

発行元：NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ

〒410-0036 沼津市平町24-4-902

電話&FAX 055-962-3190

<http://npo-stds.com/>



### 平成24年度活動報告

#### 1.セラピードッグ達が沼津に！ぬまづ福祉祭&施設訪問～

2013年10月20日(土)に中央公園で開催の「ぬまづ福祉まつり」に合わせ、国際セラピードッグ協会の大木トオル代表、トレーナーの皆さん、そしてセラピードッグたちを沼津に招聘しました。10時の開会から会場には多くの市民が詰めかけ、当クラブの特設ブースでは、東日本大震災の被災地をセラピードッグたちが訪問している様子の写真パネル展示や、犬関連グッズのフリーマーケットを行いました。



また、国際セラピードッグ協会によるデモンストレーションでは、セラピードッグたちの福祉施設での活動が再現され、小さいお子さんからご年配の方まで、実際に車椅子に乗るなど、セラピードッグたちの活躍の一端を体験頂きました。



今回の福祉まつりで一番楽しかったのは、セラピードッグの小太郎君との車イス体験です。小太郎君が車イスの速さに合わせて隣を歩いてくれたので安心でき、自然と笑顔になりました。ほかのセラピードッグ達もみんな凛々しくて、とても格好良かったです。今回のような機会を通して、より多くの人にセラピードッグのことを身近に感じてもらえるといいな、と思いました。(小6・川村 侑香)

福祉祭の翌日10月21日(日)には、沼津市大平の老人介護施設「おおひら」をセラピードッグたちが訪問しました。多くの入居者の皆さんを前に、一緒にデモンストレーションを行ったり、ふれあい活動を行って、入居者の皆さんに感動を与えました。施設側からも、再訪の希望を頂いており、継続的に沼津市への招へいが実現出来ればと思っています！



## 2. 「2012三島大社だがしや楽校」に参加

8月26日(日)三島大社での三島異業種交流会スクランブルフォーラム主催「だがしや楽校」への参加依頼があり、動物愛護のための塗り絵コーナーを昨年に引き続き出店しました。

このイベントは、子どもたちに何らかの「仕事」をしてもらい、そのお駄賃として「カバゴン券」を配布、それを貯めて駄菓子に換え、社会の経済活動の基本を学んでもらおうというもの。

晴天の下、何千人もの小学生が集結。楽しそうに様々な「仕事」にトライ。当クラブでは、動物愛護の十戒を読んでもらい、クラブ自作絵本の「いぬになったまもるくん」のイラストに「塗り絵」をする「仕事」をしてもらい、多くの子どもたちに「犬のきもち」＝動物愛護を理解頂けたと思います！



### 3 捨て犬・命のレスキュー記録！幸せになったワンコたち！

#### ① コーギーの「レーちゃん」

沼津市西熊堂で保護されたウェルッシュコーギーのレーちゃん(メス)。純血種だからすぐに飼い主が現れるだろう…と思っていたのですが現れず、クラブに相談して保健所から引き出しました。ご縁あって伊東で同じくコーギーを飼っているYさんから問い合わせいただき、Yさん実家の千葉のご両親のワンコになりました。Yさん、ありがとうございました！

最近では迷い犬情報に小型の純血種が掲載されていることも少なくありません。目の前の命を救うことも大切ですが、犬を飼うということ、命を迎えるということはどういうことか？を伝えることも大事だ…とあらためて感じました。(二藤 清美)



#### ② フレンチブルの「スズ」

フレンチブルの『スズ』は、相棒『リュウ』と共に我が家にやって来ました。一緒に保護された2匹は一見仲良さコンビに見えましたが、我が家に来た初日から、スズの女番長ぶりが大爆発でした。我が家の猫たちにケンカを売りまくるため、急遽2匹を空き部屋に隔離したのですが、今度はスズのリュウ攻撃が始まってしまい…緊急措置として、リュウを別なメンバーさんのお宅へ移す事になりました。結局、スズが一室を占領する形となりましたが、気の強い女番長は、一人ぼっちになると今度は悲痛な声で鳴き通して…、実はものすごく独占欲の強い淋しがり屋さんだと判明しました。こんな甘えん坊なのに、捨てられてからは虚勢の張り通して…きっと、淋しいのをずっとガマンしてたんでしょね…。今はいっぱい甘やかして貰えるお家の子ですから、もう女番長も卒業かな？よかったね、スズ♪ (=^ェ^=) (菅根 いづみ)



#### ③ フレンチブルの「リュウ」

フレンチブルドッグの「リュウ」♂「スズ」♀が保護されたのは、とある幼稚園でした。二匹ともひきとった時はお腹が壊れ、なにを食べていたのか赤や青のウンチ。ひもじかったせいか二匹一緒の状態が良くないため、りゅうちゃんをうちで預かりました。初めての小型犬にちょっと戸惑いながらも、お腹が治る迄サークルに入れ、とにかく消化の良い栄養のあるものを母が作り、たくさん食べさせて、庭に出して日光浴をさせ、抱っこして可愛がりました。譲渡先では放し飼いで、自慢げに家の中を案内してくれるりゅうちゃんが可愛かったです。譲渡先でも抱っこするととても落ち着くと話してくれてました。母の気持ちが伝わっている様で嬉しかったです！(辻 桐子)



### 4 沼津市役所にて初の成犬譲渡会を開催！

平成 25 年 1 月 14 日(祝)、函南町を中心に活動している「犬部」さんと共同で、沼津市役所前での初の成犬譲渡会を行いました。犬たちはすべて保健所に収容され、殺処分前だった犬たち。悪天候の中、多くの皆さんにお出で頂き、ありがとうございました。即決はありませんでしたが、トライアル希望は頂きました。今後とも3か月に1度のペースで開催予定。「お金」を出して買う前に、是非救える「命」を優先して下さい！

「犬部アツ」→ <http://ameblo.jp/inubu11/>



# ★国際セラピードッグ協会が被災犬終身保護センター設立！

国際セラピードッグ協会では、3.11 東日本大震災以降、福島などの被災地に入り、飼い主がいなくなってしまうなどにより殺処分されてしまう運命の犬たちを可能な範囲でレスキュー、セラピードッグへの育成を目指してきましたが、この度、本格的なレスキュー活動を行うため、終身保護センターの設立準備を開始しました。多くの皆様のご支援をよろしくお願い致します！

## 日本被災犬終身保護センター設立進行日程報告書

東日本の震災により多くの被災犬が生まれ、その救出と保護センター設立が急務になる中、皆様にご支援ご厚情を頂き心より感謝申し上げます。

私共と環境省が幾度にわたり被災犬の保護をいたしました。未だに残された犬達がございます。特に福島の原発により被爆した犬達は取り残されており、私共はその犬たちを中心に救出しております。また、福島で保護された犬達は、シェルターへ入るか又は各保健所へと抑留されます。保健所へ抑留された犬たちは、里親も決まらず 殺処分が開始されております。それを阻止するために現在も福島を中心に5度にわたり被災犬の最終救助活動を続けております。

つきましては最終救出を目指し、日本被災犬終身保護センターの設立工事実行案が出来上がりましたので、ご報告させていただきます。

2013年1月 行政より書文にて決定事項の提出予定。

設計図完成

2013年3月 現地基礎工事スタート

2013年5月 日本被災犬終身保護センター工事着工予定

福島県各市市長及び知事との面談予定

2013年7月 建設中のケネル部分を先行し福島より被災犬救助を開始する。

報道機関記者発表（各メディア、外国メディア（ABC(オーストラリア)、KBS(韓国)、CNN(米国)など）



場所：東京都中央区晴海 2-27 公園内

完成予定図



日本被災犬終身保護センター設立委員会  
国際セラピードッグ協会 代表 大木 トオル、特別委員 鳩山 由紀夫  
協力：環境省、東京都中央区

★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます！募金箱設置の会社、お店など  
(株)ジャスコム / 阿蘭陀館 / リブテック / ペド・ノンヌ / 沼津観光協会 / わんのはな  
NPO SIDAM / 影山鉄工所 様 他

印刷協賛： 沼津印刷株式会社 沼津市大岡 1503 電話 055-951-2960